

目標達成計画

作成日: 平成 22年 5月 20日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	職員が業務に追われてしまい、ゆとりなく、ご利用者と共に行動する機会の確保が難しい。またご利用者の身体能力、状態に差が大きく、全員一緒に活動することが難しくなっている。特に要介護軽度者の活動の幅が狭められてしまい、しばしばご利用者に窮屈な思いをさせてしまう。	職員はご利用者を介護される一方の立場に置かないよう心がけ、個々の能力や状況に合わせ、共働の場や、行動を共にする機会を増やし、よりご利用者が生活の中で充実感を得られるように支援したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の業務内容の見直し。 ・ご利用者個々の特技や嗜好、生活機能を有効に活かせるように職員会議での定期検討を行う。 ・他セクションとの連携、協力により、より選択肢のある過ごし方を提供できるようにする。 	1～12ヶ月
2	(9-2) (10)	アセスメントツールが定期的・継続的なアセスメントに活用できていない。そのため職員全体の情報の共有化が不十分である。チームケアの視点が弱くカンファレンスにおいては、ご本人、ご家族や関係者を交えての定期的な話し合いが実施できていない。	定期的にあセスメントツールを活用して的確なアセスメントを実践すると共に、自立支援に大切なポイントを落とさないように、介護計画に反映したい。また職員だけでなく、ご本人やご家族、関係者を含めチームケアを提供できるように話を聞く時間を設けていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・状態把握におけるアセスメントツールの定期活用。 ・ご本人やご家族、関係者を交えてのサービス担当者会議の開催と意見交換の実施。 	1～12ヶ月
3	(5)	危険防止の手段として、ご利用者にベッドサイドに徘徊センサーを設置しているものがあるが、安易に同対応が取られていないか、プライバシーの侵害や行動制限につながる危険を含んでいることを、念頭に慎重な対応を心がけるよう今回の評価にて指摘された。	危険防止のためであっても徘徊センサーを設置する際には、徘徊センサーが持つ監視機能がプライバシーの侵害や行動抑制を招くおそれがあることを認識し、安易な設置とにならないように配慮したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待についての正しい知識を研修で得て、職員会議などで定期的に確認しあう。 	1～12ヶ月
4	36	物干しがホーム内の廊下通路(共有スペース)に置かれ、衣類の中に下着が干してある状況があったが、ご利用者のプライバシーを損なうものとなり得ることを指摘された。ご利用者からの声も無く、職員も当たり前という認識でいたが今回の評価で指摘された。	よりご利用者個々のプライバシーに配慮したケアを検討し実践したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のプライバシーに関わるような洗濯物衣類については希望に応じて各自居室で干していただくなどの配慮を行う。 	1～12ヶ月
5	(14)	ご利用者への対応について、田舎の特色である方言を交えながら温かい雰囲気作りがされているが、言葉遣いなどで尊厳を損なう声がけとならないよう、受け取り手の気持ちを常に念頭に置いた対応がされるよう指摘された。	暖かい雰囲気作りを心がけながらも、職員自らの言葉遣いなどが、ご利用者の尊厳を損ない気分を害するものではないかを念頭に置き、自らの接遇を意識して振りかえるようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修や会議を通じて、「援助者としての接遇方法」と、家族のように生活の一部を共にする者としての接し方両方の理解を深め、温かさの中にも尊厳を損なわない対応や振る舞いができるよう研鑽する。 	1～12ヶ月

6	19	<p>ご利用者がよりどころとしてご家族やご家庭とのつながり、関係性を維持したい。ホームからも積極的に状況を発信する機会が不足していると反省する。ご家族それぞれにも事情があり、面会・外出・外泊の機会が個々に異なっており、関係の希薄化を防ぐことが課題である。</p>	<p>ご利用者がご家族、ご家庭との関係性を維持し、絆を深められるように支援したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回ご家族に対して、ご利用者個々の様子を写真付き文書にて発信する。 ・ご家族を対象にした集会を開催し、グループホームの内情についての説明と今後のあり方についての意見交換の場を年に1度程度設定する。 	1～12ヶ月
7	52 54	<p>居室に押入れなどの収納スペースがなく、紙パンツ、オムツ類が必要な方の居室が在庫であふれている。また夏冬物の衣類整理がしづらい。箱が積み上げられ目も悪いが、空間が自体が狭くなってしまっている。共有スペースには洗濯物を干すスペースがないため手すりに衣類や寝具類が掛けられていたり、物干しの設置により歩行スペースが狭められている。</p>	<p>ご利用者が日常生活を送る上で基本となる居室や共有スペースについて、動作や介助の妨げとなっていないか、見苦しい、また危険な状態となっていないかチェックし、個々にあった快適空間となるようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品の管理方法を検討し、居室での保管品も見苦しくならないように収納法を検討する。 ・夏物冬物衣類の定期的な入れ替えや管理をご家族にも協力いただく。 ・洗濯物干し場について、棟内歩行の妨げとならないように、設置方法を検討する。 	1～12ヶ月
8	49	<p>外出行事について、ご利用者の感想や意見を基にして良かった点、悪かった点が十分に話し合われることなく、毎年の行事がパターン化されてしまっている。</p>	<p>行事について、ご利用者の感想や意見に耳を傾けながら、ご利用者の主体的な活動として、より張り合いのある楽しい行事となるようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各月の行事担当者が、行事後のご利用者の意見、感想をまとめ、次回の行事に活かせるようにする。 	1～12ヶ月